

おおさか

発行所：大阪府看護連盟
〒536-0014
大阪市城東区鶴野西2丁目5番25号
ナーシングアート大阪
電話 06-6964-5655
FAX 06-6964-5665
E-mail:a-inf@nihonkangorenmei-osaka.jp
発行人：小阪佳代
発行日：平成26年6月10日
印刷所：株式会社ヒラックス

No. 14-2 (通-53)

特集

平成
26
年度

通常総会開催

6月26日(木) ナーシングアート大阪にて

会員数
H26年5月18日現在
正会員 7,465人
名誉会員 9人
特別会員 2人
賛助会員 32人
看護学生 42人

バラ：花言葉「情熱」 心 in 連盟大阪 Photo 小阪 佳代氏

平成26年度	総会にむけて……………	2
平成26年度	通常総会プログラム…………	3
平成26年度	スローガン（案）…………	4
平成26年度	活動計画（案）…………	4・5
平成26年度	収支予算（案）…………	6

平成26年度	規約・細則一部改正（案）…	6
平成26年度	役員選出……………	6
大阪府看護連盟	平成26年度研修計画…………	7
研修会報告……………		8・9
お知らせ……………		10

平成26年度大阪府看護連盟総会に向けて

大阪府看護連盟 会長 小阪 佳代

例年になく厳しい寒さの冬から抜け出て、早くも季節は初夏に移りました。皆様には平素連盟活動に多大なご協力とご支援をいただきまして有難うございます。

今年度の活動目標は第一に会員増です。1万人達成を目指して、役員一丸となって活動を展開しております。「なぜ連盟会員になるのか」や「連盟に入会してメリットは何か」など、まだまだ知られていない現状を何とか解決しなければならないという思いです。

一人でも多くの看護師に加入していただくために、研修を通して看護連盟の役割理解と仲間作りに努めておりますが、平成25年度会員数は前年度の4月比で176名増加しました。さらに今年度の目標が達成できますよう引き続き何卒よろしくお願いいたします。

活動目標の第二は政治・政策への参画です。看護協会と強い絆で手を取り合って進めております。

看護者は、『専門組織を通じて、看護の質を高めるための制度の確立に参画し、より良い社会



作りに貢献する。』責任があります(看護者の倫理綱領15)。

私たちの代表を国政の場に送り、看護師が誇りを持って生涯現役で働けるように環境が改善され、患者・家族はもちろん、国民が安心して医療の恩恵を受けられる社会にすることが看護連盟活動の原点です。現在、ポリナビワークショップを通して若い世代が政治に関心を持つことを目指しています。第一回ポリナビは2009年11月に開催され、年々その輪は広がりを見せています。今年度からは各地域ブロックでも開催することになりました。近畿ブロックの第一回は平成27年2月、大阪が担当します。近畿の看護師が結集して、特に、若い人たちは「選挙に行く」行動を起こし、私たちの代表には地方議会や国会で現場の声を届けて頂きたい、と念願しております。文字通り、私たちが「ベッドサイドから政治を変える」発信元になるのです。

皆様のさらなるご健康をお祈りいたします。



平成26年度 大阪府看護連盟 通常総会プログラム

日 時 平成26年6月26日(木) 14:00～17:00
会 場 ナーシングアート大阪 レモンホール

第 一 部

13:15 開 場
13:55 オリエンテーション
14:00 開 会
物故会員への黙禱
挨拶 大阪府看護連盟会長
名誉会員紹介
日本看護連盟創立55周年記念会員表彰者紹介
来賓挨拶・来賓紹介・祝電披露
14:45 議長団選出
● 平成25年度大阪府看護連盟通常総会議事録朗読
経過報告 ● 平成25年度大阪府看護連盟通常総会報告
● 平成25年度日本看護連盟通常総会報告
● 都道府県会長会議報告
● 近畿ブロック会長会議報告
● 大阪府看護連盟役員会・青年部会報告
● 平成25年度活動報告・支部活動報告
● 平成25年度決算・監査報告
審議事項 ● 第一号議案 平成26年度スローガン(案)
● 第二号議案 平成26年度活動計画(案)
● 第三号議案 平成26年度予算(案)
● 第四号議案 規約・細則一部改正(案)
● 第五号議案 平成26年度役員選出(案)
綱領宣言
日本看護連盟の歌斉唱
15:45 閉 会

第 二 部

15:50 自由民主党大阪府支部連合会 大阪府看護連盟支部報告
16:00 閉 会

第 三 部

16:10 講演会 講師:日本看護連盟 前会長 清水嘉与子 先生
17:00 終 了

第一号議案 平成26年度 スローガン(案)

ベツトサイドから政治を変える！

第二号議案 平成26年度 活動計画(案)

重点
目標

組織力の強化

会員数10,000人を目指す

重点
活動

1. 連盟活動についての理解を深める

2. 施設訪問を通して会員獲得に努める

項目	目 標	活 動	手段・内容
組織の強化・拡大 連盟活動についての理解を求め、会員数増を図る	1. 看護管理者・看護教育者の連盟活動への理解を深める	1) トップセミナーの実施 2) 施設訪問の実施 3) 学校訪問	・ 2回実施(5月・3月) ・ 研修時基礎研修大阪版 ・ 未加入施設を中心に訪問実施 ・ 加入施設においては会員数増を図る
	2. 継続的な研修受講により看護協会と看護連盟の関連への理解を深める	1) 新入職員基礎研修の徹底 2) 経年別研修の実施 3) トップセミナーの実施 4) 府役員・支部役員・リーダー・施設連絡員研修の実施 5) 役員会等で会員数増について意見交換する 6) 若手会員・一般会員等の懇親会の実施	・ 支部中心で実施 ・ (基礎研修大阪版使用) ・ 府連盟で研修実施(4月) ・ 研修会の際、基礎研修大阪版を実施する ・ 2回予定 ・ 施設で職員に熱伝導する ・ 府連盟主催で2回実施 ・ 施設でスタッフに伝える ・ 意見交換内容に基づき活動する ・ 互礼会等
	3. 支部組織の充実と強化	1) 支部会員数の目標管理 2) 府役員と支部役員との連携強化 3) 府役員・支部長・支部役員・リーダー・施設連絡員研修 4) 地域病院とのネットワークを深める	・ 年間計画に会員数目標を挙げる ・ 担当支部との連携を密にし、支部役員と協力 ・ 支部役員会・研修会等出席、その他相談・指導 ・ 基礎研修の実施(講師として) ・ 施設訪問の実施、訪問時青年部同伴し連盟・青年部のPRをする ・ 2回実施(9月・12月) ・ 施設訪問を通して現場の声を把握する ・ 看護を考える地方議員の会へ協力依頼
	4. 大阪府看護協会との連携強化	1) 協会との連携を強化し、協力体制を深める	・ 看護協会通常総会出席(本部・大阪府) ・ 日常の情報交換
	5. 近畿ブロック活動の強化	1) ブロック管理者研修の実施 2) ブロックポリナビ集会の実施	・ 11月実施 ・ 2月実施
	6. 若手会員の育成	1) 若手対象の研修実施 2) 青年部をPRする 3) ホームページの充実 4) 第5回ポリナビワークショップin大阪の開催 5) 近畿ブロックポリナビワークショップの開催 6) ポリナビ全国大会への参加 7) 看護学生対象研修実施	・ 新人から2年目対象の研修 ・ 施設訪問時PRする ・ 毎月青年部員によるコメント掲載 ・ 青年部主催で実施 ・ 近畿ブロック青年部で実施 ・ 第1回大阪で開催 ・ 岐阜県で開催 ・ 他府県若手会員とのネットワークづくり ・ 卒業予定の看護学生対象に研修(2月)ポリナビへの参加呼びかけ
	7. 学生会員の獲得と育成	1) 学生会員募集 2) 研修等への呼びかけをする 3) 情報提供	・ 全校へ入会案内送付と未入会校への訪問 ・ 2月研修、ポリナビの案内送付 ・ 機関誌“おおさか”の送付
	8. 看護連盟の理解者を増やす	1) 他団体との連携強化	・ 他団体との意見交換 ・ 機関誌“おおさか”等の情報提供

項目	目 標	活 動	手段・内容
組織の強化・拡大	地域病院とのネットワーク作り	1)施設訪問の実施 2)看護協会地区との連携を図る	・府役員・支部役員と協力し、施設訪問をする ・会議・研修等に出席し連携を図り、ネットワークを作る ・現場の生の声は役員会等で共有し対策や支援を考える。
	各地区議員との交流を深め連携強化する	1)議員との研修会・懇談会の開催 2)議員主催の研修会やイベント等へ参加し交流を図る	・府役員・支部役員の参加
	活発な情報流通	1)機関誌“おおさか”の発行 2)連盟ホームページの運営 3)看護職議員の活動を周知する	・年3回発行 ・タイムリーな更新と情報提供をする ・会員へは本部よりアンフィニやウィクリーアンフィニの配布 ・府では機関誌“おおさか”の配布 ・役員会で議員の活動報告等配布 ・非会員へは施設訪問や学校訪問時・研修会等で議員の活動報告を配布する
政治力の強化	看護現場と政治との関連性について理解を深める	1)議員の活動を周知する	・議員の活動報告を役員会や青年部会で配布し周知する。職場で伝導する。 ・HPやメルマガの閲覧を推進する ・議員による国政報告
	看護職国会議員への支援	1)第24回参議院選挙に向けた体制を整える 2)次期衆議院選挙に向けて体制を整備する	・会員数10,000人確保と1万票以上獲得するための活動方針の周知徹底 ・選挙応援 活動応援
	看護政策に関する議論を活発に行える環境をつくる	1)会員間の情報流通をより効果的に行う(情報収集・情報発信) 2)看護協会とともに陳情・要望活動を行う 3)自由民主党大阪府支部連合会・看護を考える地方議員との連携強化 4)「現場の声」を国会議員、地方議員に積極的に伝える	・関連情報を速やかに入手し伝える ・機関誌“おおさか”の発行 ・看護協会とともに実施 ・関連議員への協力依頼 ・支持政党への要望 ・府連女性局や議員主催の研修会等への積極的参加 ・看護を考える地方議員との意見交換会を実施。特に看護問題に関心の高い議員との連携を強化する
	国会への影響力を強める	1)国会議員の主催する研修会等への出席をする 2)看護連盟主催の研修会案内	・国政報告会やセミナーへの参加 ・通常総会・新年互礼会の案内
	地方議員への影響力を強める	1)「看護を考える地方議員との会」との連携強化 2)議員主催の会合・研修会への出席	・研修会や意見交換会 ・各支部地区議員との意見交換会 ・担当役員・支部長出席
組織の適正な運営管理	1. 日本看護連盟・近畿ブロック・支部・施設支部の一連した組織活動を行う	1)近畿ブロック間の情報交換 2)定例会を通して日本看護連盟・近畿ブロック・支部・施設支部の情報を伝え連携を強化する 3)各支部の運営を支援する	・日常から情報交換を密にする ・全国会長会議・近畿ブロック会議等の情報を伝える ・役員会及び合同役員会の開催 役員会 毎月開催 合同役員会 年2回開催 ・役員会は情報提供と活発な意見交換の場とする ・担当役員との連携を密にする
	2. 大阪府看護連盟創立55周年記念行事の施行	1)記念式典と記念講演会 2)記念誌発行 3)記念品の作成	10月18日開催
	3. 事務局の運営を適正に行う	1)会員を適正に管理する 2)財政を適正に管理する 3)職員を適正に管理する	・日常の情報交換を密にする ・会員管理システムの推進 ・年2回の監査実施
福会員の祉	1. 慶弔への対応	1)規約に基づき対応する	・お祝い・災害見舞い・物故者への慶弔 ・その他
	2. 諸問題への対応	1)専門家と相談の上、速やかに問題解決する	・自由民主党弁護士との連携

第三号議案 平成26年度 収支予算(案)

(収入の部)

自：平成26年4月1日～至：平成27年3月31日

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	差異(予算)	備 考
I 会 費	30,000,000	27,000,000	3,000,000	3,000×10,000名の会員目標
II 賛 助 会 費	100,000	200,000	△100,000	1,000×100名の会員目標
III 研 修 会 会 費	1,500,000	1,000,000	500,000	
IV 助 成 金	16,150,000	15,500,000	650,000	
V 広 告 料	200,000	100,000	100,000	
VI 雑 収 入	500	500	0	
合 計	47,950,500	43,800,500	4,150,000	
前 期 繰 越	48,998,417	51,794,706		
収 入 の 部 総 計	96,948,917	95,595,206		

(支出の部)

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	差異(予算)	備 考
I 会 議 費	7,700,000	7,700,000	0	
総 会 費	2,400,000	2,400,000	0	
役 員 会 費	5,300,000	5,300,000	0	
II 事 業 費	69,100,000	68,100,000	1,000,000	
機関誌発行費	3,800,000	3,800,000	0	
活 動 費	38,300,000	37,300,000	1,000,000	
教 育 費	9,500,000	9,500,000	0	
組 織 対 策 費	17,500,000	17,500,000	0	
III 運 営 維 持 費	20,100,000	19,760,000	340,000	
人 件 費	15,300,000	15,160,000	140,000	
需 給 費	4,800,000	4,600,000	200,000	
IV 予 備 費	48,917	35,206	13,711	
合 計	96,948,917	95,595,206	1,353,711	
次 期 繰 越	0	0		
支 出 の 部 総 計	96,948,917	95,595,206		

第四号議案 規約・細則一部改正(案)

第五号議案 役員選出

平成26年度 改選役員候補(案)

	氏 名	
副 会 長	石 藏 はつひ	新
幹 事	森 弓 子	新
幹 事	豊 田 百合子	再
幹 事	高 戸 サチエ	再
幹 事	石 本 妙 子	再
幹 事	宮 地 緑	再
監 事	宇 野 才 子	新
協和会支部長	津 村 輝 恵	新
千里中央支部長	前 田 千保子	新
池田病院支部長	金 沢 純 子	新

	氏 名	
市西支部長	交 渉 中	新
暁明館支部長	田 村 洋 子	再
堺ベル支部長	佐 藤 郁 子	新
錦秀会支部長	植 本 八 代	新
府南支部長	大 西 晴 江	新
明治橋支部長	鍵 本 由起子	再
泉南支部長	南 孝 美	新

平成26年度推薦委員候補(案)

氏 名	支 部 名
服 部 誠 子	府北西支部
桂 ミ カ	府北東支部
村 田 いくよ	市東支部
片 山 喜久江	堺 支 部
小和田 孝 子	泉 南 支 部

大阪府看護連盟平成26年度研修計画

平成26年度目標

1. 看護協会と看護連盟の関連や政策に関する基本的な知識を学ぶ
2. 連盟活動についての理解を深め、会員間の交流を図る



月・日	曜日	時 間	研修名・対象者	テーマ・講師
4月26日※	土	13:30～ 16:00	新入職者研修	「基礎研修大阪版」 大阪府看護連盟副会長 本山 裕子
5月31日※	土	13:30～ 16:30	トップセミナー1 各施設トップ	1. 「基礎研修大阪版」 大阪府看護連盟副会長 橋口 富枝 2. 「チーム医療と変革のリーダーシップ」 札幌市立大学大学院看護学研究科 客員教授 松下 博宣 先生
6月26日	木	16:10～ 17:00	大阪府看護連盟通常総会 会員他	「看護と政治」 日本看護連盟 前会長 清水 嘉与子 先生
7月12日	土	13:30～ 16:30	師長・主任 クラス研修	1. 「基礎研修大阪版」 大阪府看護連盟幹事 宮地 緑 2. 「看護管理者として学ぶ力」 甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授 青山 ヒフミ 先生
9月20日	土	13:30～ 16:30	リーダーセミナー1 府役員・支部役員 施設連絡員	1. 大阪府看護協会会長 伊藤 ヒロコ 先生 2. 大阪府看護連盟会長 小阪 佳代 3. 参議院議員 石田 昌宏 先生
10月18日	土	14:00～ 16:00	55周年記念講演会	1. 「日本の未来に向けて」 衆議院議員 小泉 進次郎 先生 2. 「国政報告」 参議院議員 高階 恵美子 先生
11月29日	土	13:30～ 16:30	師長・主任 クラス研修	テーマ 未定 看護職キャリアサポート 顧問 大島 敏子 先生
12月13日	土	13:30～ 16:30	リーダーセミナー2 府役員・支部役員 施設連絡員	1. 「基礎研修大阪版」 大阪府看護連盟幹事 高戸 サチエ 2. 「テーマ 未定」 日本看護連盟会長 草間 朋子
平成27年 1月24日	土	17:00～ 18:00	会員他	新年互礼会 参議院議員 高階 恵美子 先生
2月7日	土	午後	近畿ブロック ポリナビワークショップ	検討中
2月 日未定		14:00～ 16:00	卒業予定の看護学生 1～2年目看護職員	「ベッドサイドから政治を変える！」 大阪府看護連盟会長 小阪 佳代
3月7日	土	午後	第5回ポリナビ ワークショップinおおさか	検討中
3月14日	土	13:30～ 16:30	トップセミナー2 各施設トップ	1. 「基礎研修大阪版」 大阪府看護連盟幹事 堀内 淑子 2. 札幌市立大学大学院看護学研究科 客員教授 松下 博宣 先生

※の研修は終了しております。

中堅看護職者研修 終了後アンケートより

テーマ「品格ある看護管理の展開には」

講師：愛仁会顧問 内藤 正子先生 11月30日(土) 出席者233名

希望と勇気を頂きました！
初心を忘れずもう少し明日から頑張れと

看護とは何か改めて考える機会となり、より良い看護が提供できるよう管理者として何を大切に管理、教育・指導を行うか、方向性がしっかりと定まった。常に社会の出来事を咀嚼し、時代により変わらないもの、変化するものは何かを見極め、看護の栄養・原動力に繋げることの必要性を実感できた。形のない看護という商品を売るには心と知と技で表現するマネジメント力が必須であり、その為には品格が基盤として重要である。今後は「語れる看護」と「可視化できる」ことを継続したい。また、看護職の社会的位置を理解しスタッフと共に今まで以上に患者側に立った思考の下、協働して心地良い(患者のみならず我々も)環境にしていきたい。



文責：教育担当幹事 堀内 淑子



新年互礼会

平成26年1月25日(土)

於：ホテルニューオータニ 参加者234名

石田まさひろ議員を講師にお迎えし「国政報告」をしていただき、多くの来賓、又関係者、会員の方々がご参加され、盛大に開催されました。

看護連盟 新年互



都道府県別リーダーセミナー 終了後アンケートより

テーマ「看護政策の実現に向けて」

講師：日本看護連盟 阿津 公子幹事長 12月16日(月) 出席者67名

さすが！リーダーの方々、
自分たちが何をするのかを考えていた

看護連盟活動の仲間作りの為に伝える能力と対象が重要、組織の要である管理者への働きかけや新人・中途入職者のサポート等、若い人達の理解を深め相手を巻き込み『現場の声』を政策に繋げる具体的事例での研修を実施する。また、『現場の声』がどのように届けられ、どのように変わってきたのか、政策に繋がることの「意味」を伝えていかなければならない。そして、職場環境を整えていく手段として看護連盟活動を伝えていく。大切なことは、看護職一人一人が問題提示を本気で考えること、根気よく方向性(目標)に向かって行動することが重要。現場を変えるためには、看護連盟活動の理解の徹底と学習会が必要！



新入職者研修 基礎研修大阪版

テーマ「看護連盟の役割と活動」

講師：大阪府看護連盟 副会長 本山裕子

～連盟と共に歩む～

淀川キリスト教病院 杉山 瑠



看護連盟という存在は入職時の研修で説明を受けて知っていた。しかし、自分の職場環境や未来に直接繋がるというイメージがどうしても持てずにいた。

入職から約1か月が経過した頃、今回の研修に参加し、改めて看護師の職場環境や労働環境を見直すきっかけとなった。

講義では看護師という仕事の素晴らしさを再確認し、現状を見直した。給与や勤務時間、人員不足などの問題が上がったところで私はこれらが私にとって“仕方のないこと”だと思い、とくに諦めていたことだと気付いた。しかし、今回の研修で政治に参加していくことにより、それらの問題は変えていくことができるということを知った。これは私にとってとても大きな衝撃であった。

未来に希望を持つために、看護連盟は政治的に働いてくれている。私たちは看護という素晴らしい職業に就くことができた。だからこそ、未来の自分のために看護連盟と共に歩むのもひとつの選択肢だと思うのだ。



師長クラス看護職者 基礎研修大阪版

テーマ「ベットサイドから政治を変える」

講師:大阪府看護連盟 会長 小阪 佳代
平成26年3月15日(土)

～講義とワークショップを終えて～

府東支部 市立柏原病院 松永佳代子



看護協会は政策提言活動で、国の保健医療福祉に関する諸検討会に委員として出席し、毎年看護政策をまとめた要望書を政府に提出している。

看護連盟は政治活動と懸念され、イメージがあまり良くないというスタッフも中には存在する。だが、看護協会の提言する看護政策実現のために政策決定の場である国政・地方議会に代表をおくる。その代表議員が看護問題の解決を政策決定の場で進展させるための支援をしているが、それぞれ解決のために必要な法律を変えるための根拠ある主張が必

要でそのためには政治力を発揮しないと実現は難しい。

連盟会員数「1万人目標」と掲げ、そのために「今私たちができることは何か」の題材でワークショップを行った意見の中には、時間外の病棟会などを利用し15分程度連盟活動をアピールしスタッフにわかりやすい言葉で伝達しその後自己決定で連盟入会の協力を得ており、制度として確実に変わってきていることを具体的に伝達しているという施設もあった。会員数1万人獲得に向け私たちも一致団結し、よい看護を提供するためにも施設代表として、情報は管理者やスタッフに連盟活動を伝達し理解・協力を得ることが大切だと感じた。



卒業予定者看護学生・1～2年目看護職者

テーマ「看護の未来」 講師:日本看護連盟 会長 草間 朋子
平成26年2月24日(月)

～チーム医療のキーパーソンとして～

行岡医学技術専門学校 看護第1学科 13期生 表原 絵梨香



看護に必要なものは自覚性、組織、チーム医療、教育、看護師と患者を支える法律、そしてその人自身の感性が必要不可欠であると学びました。患者を守るためにはまずは自分たちを守るための法律が存在していることを知る必要があります。先輩方が作り上げてきた今日の労働環境を守りながら今後も働きやすいより良い

社会を目指す為に一人一人の意識が大切です。また、21世紀はチーム医療の時代であり患者を中心に様々な職種が関わります。その中で常に患者の近くに居るのは看護師であり、看護師はチーム医療のキーパーソンであることを改めて感じました。そのため患者が求めていることをいち早くキャッチできる看護者自身の感性が必要であり、日々感性を磨く自身の努力も必要です。「ベットサイドから看護を変える」のスローガンのように、長い歴史の中で医学が凄まじく発展してもベットサイドでの看護はこれからも変わらない看護のあるべき姿だと思いました。



～専門職としての自覚と誇りを！！～

大阪済生会中津看護専門学校 恵美須屋 亜美

今回、「看護の未来」というテーマでご講演いただき、私達へのエールとしてたくさんの貴重なお言葉をいただきました。組織の一員であるという意識を持つことができ、一人ひとりの意識の高まりが必要なのだと自覚することができました。最初は与えられた業務をこなすことで精一杯だと思いますが、これからの看護をより良いものにしていけるよう常に問題意識をもって業務に取り組む姿勢を大切にしたいと思います。

また、「看護師はチーム医療のキーパーソンである」というお話があり、これから看護師として働く中で、それに見合う能力を身につけられるのかと身の引き締まる思いでした。患者様に最良の医療を提供できるようチーム医療の一員として患者様を一番身近で支えていきたいです。そのためには、1日でも早く知識や技術を身につけ、常に専門職としての自覚と誇りをもって精進していきたいと思います。



日本看護連盟 会長 草間朋子



お知らせ

支部活動報告

堺ベル支部 支部長 新林文字

目的は、中堅看護師を対象とし、各施設から指導的存在の看護職員の参加を依頼した。

現場での仕事は、特に経験年数が上がれば上がるほど施設側としても期待が大きくなり、役割は、新人教育・中途入職者・学生指導・現場での委員会活動などさまざまである。看護師は、基本真面目な団体なので、やらなければならない精神が強く、限界であっても、答えようとして働く。そしてバーンアウトや離職に繋がることも多い現状である。

そこで、そういった看護師が元気であれば、施設内の看護師スタッフも元気になる、よい循環へととなり、さらに患者さま・家族さまは、もちろんのこと職場の雰囲気もよくなり、働きやすい職場へと社会への貢献度も上がってくるのではないかとこの研修会を企画した。68名の参加。

現在、あべ議員・たかがい議員・石田議員の、国会での活動報告後紹介し、連盟活動の意義をご理解いただきそして、研修会の開催となった。

研修会は、さすがに放送作家の方なので、普通の研修会よりも多く笑いに引きつけられていた参加者が印象的でした。たとえば、吉本新喜劇を観にいった高齢の方の忘れもの第1位は？の答え：杖 それは、新喜劇で楽しく過ごし、笑いが元気を与え、杖なしで帰宅。また、問題が発生

テーマ「お笑い芸人からの学び」
笑撃コミュニケーション

『仕事が劇的に楽しくなるワラコミュ』

講師：Wマコト（中原誠・中山真） 平成26年1月30日（木）



した場合は、『なんでやねん力』で分析する、それは、できたこと・できなかったことを分析するには、問題発見力と問題解決力とコミュニケーション力と実現力で正しい答えを出すことができる。また、コミュニケーションを有効にするには、ほうれんそうとちんげんさいを有効に活用すること。ほうれんそうは、報告・連絡・相談と、血液で例えると動脈。ちんげんさいは、鎮心術・現状把握術・采配術で、静脈。そういった研修会参加者は、多数が、『楽しかったとか、元気をもらった。明日から活用します。笑いを取り入れて話をすると、心に残るなど』と好意的な意見を聞くことができた。



慶事

平成26年 春の叙勲
おめでとうございます

瑞宝双光章 森 弓子(元 大阪府済生会富田林病院 看護部長)
瑞宝単光章 千葉 鐘子(市立堺病院 看護局長)

編集後記

今回は平成26年度通常総会号です。総会には、要綱に目を通していただき、皆様の多数の参加をお待ちしております。

昨年7月石田まさひろ新議員が誕生し、はや1年になります。3人の先生方の活動内容はブログ、メールマガジンなどからも読んでもらえればと思います。(あべ議員・たかがい議員・石田議員)

研修も参加者が増え、協会との連携も深まり、看護を考える地方議員の先生方のご支援もいただきながら、組織強化、拡大につながっていると感じています。

本誌ではできるだけ解りやすく、活動内容を載せたいと考えています。皆様のご意見をどしどしお寄せ下さい。 I.T

看護の夢を実現させるのはあなたです！

現場の声を国政に反映させましょう

日本看護連盟
5,000円

年会費 8,000円

賛助会員 1,000円

学生会員 無料

大阪府
看護連盟
3,000円

平成26年度の会員入会を受け付けております

平成26年度目標会員数 10,000名



本物の豊かさ やさしく包み込まれる 楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムートンアリエス40。1cm²に5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。



アリエス40
シャンパンゴールド



アリエス40
オフホワイト



東洋羽毛関西販売株式会社

大阪営業所
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12

TEL 0120-88-2104

ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>